

# 神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第186号

令和3年9月1日発行  
事務局：県立青少年センター  
科学部 科学支援課  
電話：046-222-6370

## 緊急事態宣言発出に伴い、講座開催を一時中止します

夏休みが本格的となりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、8月2日(月)から神奈川県内に**緊急事態宣言**が発出されました。8月2日以降に開催予定だった青少年センター及び協議会関連の事業(中高生サイエンスキャリアプログラム、子ども科学探検隊等)については、感染症拡大防止の観点からしばらくの間**中止**することになりました。

開催を待ち焦がれていた子どもたちにとっては残念な結果となってしまいました。一刻も早く感染症拡大が収束し、講座が無事に再開されること祈りつつ、準備を進めていきたいと思っております。

開催の準備を進めていただいた協議会会員の皆様、参加者の皆様、申し訳ございません。

## 夏休みも終盤へ。科学体験の充実に向けて

夏休みを迎え、各地で様々な科学講座が行われています。子どもたちの学校での活動が制限される中、特別な夏を科学の力で体験していただくため、夏休み以降も全力で学習の場を提供してまいります。今回の協議会ニュースでは自然観察会など協議会の皆様に御協力いただいている事業について実施報告をいたします。

### 自然観察会(天神島に行こう！)

7月4日(日)に自然観察会「天神島に行こう」が行われました。前日からの大雨で開催が心配されましたが、安全に配慮しながら実施しました。屋外では天神島周辺を散策して生き物の観察、室内では顕微鏡を使って観察を行いました。



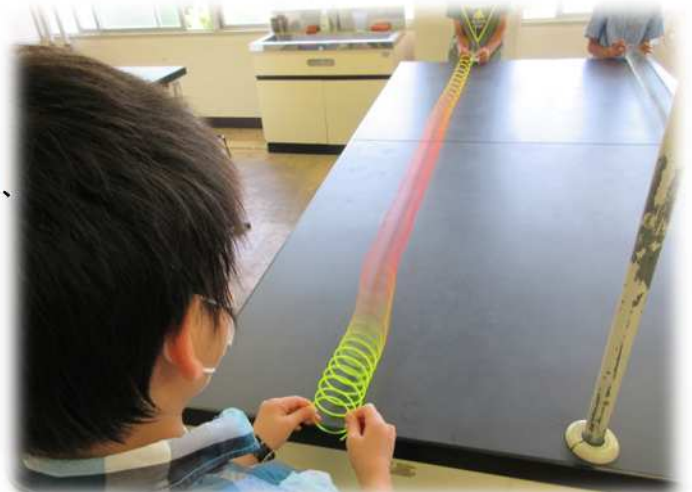
7月4日(日) 横須賀市自然・人文博物館<sup>協</sup> 天神島臨海自然教育園 参加者：午前11名 午後18名

### 子ども科学探検隊

7月17日(土)に湘南工科大学にて子ども科学探検隊が行われました。音の仕組みについて演示実験を見る場面では、参加者から「縦波・横波が面白かった」、「音の振動で盤上の塩に模様ができただ」などの感想があり、面白かったと好評でした。

工作実験では糸電話の製作を通して様々な工夫をして長い糸電話や複数人で聞くことができる糸電話づくりを通して音の仕組みを学習していました。

7月17日(土) 湘南工科大学<sup>協</sup> 参加者：10名



## リレー科学教室(葉山)

実験ショーや工作を通じて科学の力と不思議を体験してもらおう「かながわりレー科学教室(葉山)」を7月11日(日)に葉山町教育委員会庁舎にて行いました。昨年度、実施予定でしたが、感染症拡大防止のため中止となり、1年ぶりの開催です。



7月11日(日) 葉山町教育委員会庁舎 参加者: 10名

## 中高生サイエンスキャリアプログラム

中学生・高校生を対象とした中高生サイエンスキャリアプログラムでは青山学院大学にてプログラミングを行いました。午前中は基本操作を行い、午後の自由制作では、初対面のメンバーと協力して作業に取り組みました。また、やりたいことを形にしようと、試行錯誤しながら熱心にプログラミングに取り組んでいました。



7月28日(水) 青山学院大学協 参加者: 12名

## ロボットプログラム(中学生講座)

7月31日(土) 県立青少年センター科学部(本厚木)にてロボットプログラミング講座を行いました。今年度より中学生の部を新規に開講し、午前、午後の部に合計10名の方が参加しました。

当日は高校生科学ボランティア4名もサポートとして参加し、LEGO社のEV3を使用したロボットプログラミングを行いました。「ものをはさんで運ぼう」と題し、参加した中学生の皆さんは自律型ロボットの基礎を学び、科学技術に触れながら学ぶ楽しさを体験することができました。



7月31日(土) 県立青少年センター科学部協 参加者: 10名



協は神奈川県青少年科学体験活動推進協議会会員です。

## 事務局から

緊急事態宣言により3月以来再びの講座中止となりました。地域のイベント、講座も中止・延期が多く、例年よりも多くの方から協議会関連の講座に御応募いただいております。その要望に応え、学習の場を絶やさないよう引き続き、会員皆様の御協力をお願いします。(事務局長: 樋口 事務局員: 山田、秋田谷、上田)